

全 A ネット就労支援セミナーin 高知

「ピアサポーターが果たす役割と限らない可能性」



主催 NPO 法人就労継続支援 A 型事業所全国協議会(全 A ネット)

日時 2023 年 3 月 11 日(土) 14:00~16:00

開催場所 高知城ホール4階 多目的ホール

(〒780-0805 高知県高知市丸ノ内2丁目1-1 高知県教育会館高知城ホール)

参加人数 会場参加：35名

リモート参加：36人

参加費 無料 (ヤマト福祉財団助成)

令和6年度の報酬改定に向けて、今後はA型の在り方が改めて検証されている。今日は「ピアサポーターの役割」について一緒に勉強していきたい。また今セミナーが高知において、事業所間の横のつながりの契機になれば良いと思う。

安藤里恵子氏 (一般社団法人りぐらっぶ高知)

ピアサポーターとは、精神障害者領域、身体障害者領域、知的障害者領域に分けてこれまでの歴史や養成研修に関する概要説明があった。「ピアサポーターは経験による専門家である。」「訓練による専門家とお互いの専門性を活かすことで幅広いサポートをすることができる。高知では精神障害者(国は3障害対象)のためのピアサポーター養成研修になってい

ることは課題とも言える。

井上真共氏（NPO 法人 SlowAge ピアサポーター）

自己紹介から自助グループ立ち上げの話からピアスタッフとしての悩みや現場で起こっている悩みの話があった。

「専門職からどのように思っているのだろう。利用者からどう見られているのだろうか。」
「考えすぎても自分が上手いかないので背伸びせずに自分のできることをやっていくことが大事なのだろう。」

齊藤健氏（社会福祉法人豊芯会ピアサポーター）

自己紹介、自分の職場での立場、ピアスタッフが活躍することでのメリットや働いている中での葛藤の話があった。

「同じ経験を持つ者として利用者の話を聞いただけなのに、職員から責任が取れない話に踏み込んではいけないのよと言われ思い悩んだ。」「常勤職員になってのプレッシャー」「ピアだけが頑張っても周囲が理解してくれないと強みが発揮できない。」

小松秀靖氏（クオール株式会社）

ピアサポーター研修を受けて、素晴らしい研修だなと感じた。研修を受けて自分が優しくなれた。普段は考えることがないけれど、受講したことで自分のことを考えられる時間になったように感じた。A型事業所では、職業指導員などの職員として利用者からの相談を受けた時に気持ちを整理して、感情が入らずに相談に乗れるようにも思う。

より良い A 型事業所を目指す上で、勉強していければとピアサポーターを今セミナーのテーマにしたとのこと。

経験したからこそその専門家と、学習・訓練の専門家が協働することで良い A 型事業所の支援が出来るのではと感じた。
(事務局 白井崇晃)

